

JBA NEWS

南カリフォルニア日系企業協会 会報 (月刊)

September 2009
Issue No. 251

CONTENTS

- Bridging U.S.A. & Japan Concert
レポート & 2009年度サクラメント
訪問報告…………… 1
- Bridging U.S.A. & Japan Concert
レポート…………… 2-3
- 2009年度サクラメント訪問報告
…………… 4-5
- 第129回ビジネスセミナー… 6-7
- 新入会企業紹介…………… 8
- 新入会企業紹介
& 各分会からのお知らせ…… 9
- 各分会からのお知らせ…… 10-11

September / October Event Calendar

- 9/10 (木)
異業種交流会 (企画広報部会)
- 9/11 (金)
第130回ビジネスセミナー (企画広報部会)
- 9/12 (土)
サマーコンサート (オレンジ・カウンティ地域部会)
- 9/12・13、/19・/20 (土・日)
ソフトボール・トーナメント (企画広報部会)
- 9/16 (木)
サウスベイ懇親会 (サウスベイ地域部会)
- 9/27 (日)
教育フェア (教育部会)
- 10/4 (日)
ミラマー・エアショー・見学
(オレンジ・カウンティ地域部会)
- 10/9 (金)
環境セミナー (企画広報部会)
- 10/11 (日)
OC親睦ゴルフ大会
(オレンジ・カウンティ地域部会)
- 10/18 (日)
OCハーベスト (オレンジ・カウンティ地域部会)
- 10/24 (土)
懇親ゴルフ大会 (サウスベイ地域部会)
- 10/25 (日)
ハロウィンピクニック (サウスベイ地域部会)
- San Diego 日帰り旅行 (オレンジ・カウンティ地域部会)
- 懇親ゴルフ大会 (ダウンタウン地域部会)

Japan Business Association of Southern California

1411 W. 190th St. Suite 270, Gardena, CA 90248
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722

<http://www.jba.org>

Report

商工総務部会

今年も知事と会談実現 2009年度サクラメント訪問報告

6月24日、25日の2日間にわたり、JBAと北加日商(JCCNC)が合同で、サクラメント訪問を実施した。この訪問は毎年この時期に執り行っており、カリフォルニア州の政府・議会要人と“Face to Face”で意見交換を行う貴重な場となっている。総勢21名、JBAからは鈴木康義会長(当時)始め、5名が参加した。

今年もシュワルツェネッガー加州州知事と会うことができ、日系企業のカリフォルニア州経済への貢献を直接アピールすることができた。

(4ページに続く→)



木畑筆頭副部長(現JBA会長)(写真左)とシュワルツェネッガー加州州知事

Event

382名の美声がホールに響く! Bridging U.S.A. & Japan Concert開催



昨年よりJBAを挙げて取り組んできた、ベーターベンの第九合唱イベント「Bridging U.S.A. & Japan Concert」が、7月10日に本番を迎えた。各地域部会からの有志に加え、南加日系商工会議所、日米文化会館や日米協会を介して参加した日系人ら総勢382人が、ディズニー・コンサートホールに集結。長きにわたり練習してきた合唱の成果を披露した。

(次ページに続く→)

(→前ページから続く)

Bridging U.S.A. & Japan Concert開催

(寄稿：鈴木康義・前 JBA 会長)

ワシントンの街から始まった 日系人との合唱構想

JBA 会員の皆様、去る7月10日にウォルト・ディズニー・コンサートホールで開催したベートーベン第9交響曲プロジェクト「Bridging U.S.A. & Japan Concert」につき、この紙面をお借りして報告いたします。

まず会員の皆様には、様々な形で当該プロジェクトに対しご支援いただき、心から御礼申し上げます。同プロジェクトの構想は、約

2年前、ワシントンで JBA 代表として日米経済会議に出席した時に始まります。

加藤駐米大使(当時)から「日米関係を、今問題のない時に強固なものにする必要があります。それにはアメリカに住んでいる日系人、つまり日本人に1番近い友人に、まず日本や日本人を理解してもらうことです。草の根活動で個人、個人が本当に理解し合うことは極めて重要です」という言葉がありました。

JBAとして何かできることはな



本番を迎え、完全燃焼！ 練習の成果を結実させた

コンサートを終えて 鈴木会長(当時)の感想



今回、やってみないとわからないことって、いっぱいあるなと思いました。例えば、ディズニーホールは、一見さんには貸してくれません。そんな時に助けてくれたのが、日系人の方でした。JBAとしては2年越しというイベントは初めてで、本当に皆さんにはご迷惑をおかけしました。

経済人として考えると、日米関係が日本にとって1番大事なことだと思います。その日米関係の安定のためには、アメリカに日本を理解してもらう必要があります。そのため、我々に1番身近な日系人にアプローチする必要があります。今後も、こういう日系人との交流や政治的な活動をして、日系企業のパワーをもっと有効に使えるようなJBAになってほしいです。

いかと、ワシントンの街で考えました。自分自身が昔から合唱をやっていた関係で、ベートーベンの第9は、その歌詞の内容、そして歌の難しさから、日系人や日本人から合唱団員を募集して長期間練習をすれば、いろいろな苦労があ

る一方でお互いの交流が深まるのではと考えました。

昨年1月には企画案を練り、趣旨に賛同してくれた方々に企画委員になっていただき、準備を始めました。昨年7月から募金活動を開始しました。



サウスベイでの合同リハーサル

ご出張の多い企業様へ——国際線法人向け会員プログラム

ANA BUSINESS FLYERS



www.fly-ana.com

ANA BUSINESS FLYERSは
ANA国際線を年間\$10,000以上利用
される企業を対象とした会員プログラム。
入会・年会費無料で、ご出張の航空券を
最高5%割引でご購入いただけます。
詳細はwww.ana.co.jp/www/us/j/abf/

ANA

A STAR ALLIANCE MEMBER





11月には460名もの合唱参加者が集まり、練習を開始することができました。初めての練習の時に、こんな声の出し方で合唱ができるのかと心配になったのを今でも覚えています。それを合唱指導の先生方、リーダーの皆さん、そして参加者の皆さんの熱意と努力で、難しい歌を本当に歌えるようになったのは素晴らしいことです。

合唱団員の歌に対する強い気持ちが現れた

オーケストラは、日本と馴染みの深いアジア・アメリカシンフォニー、4名のソリストは、日米の架け橋にふさわしいプロの歌手、日本国籍2名、アメリカ国籍2名の方々をお願いしました。本番の合唱は、本当に素晴らしかったと思います。何よりも合唱団員の歌に対する強い気持ちがこもっていました。聴衆の中でも、何人もの

人が涙が出たそうです。これこそが、アマチュア合唱の素晴らしさだと思います。

この企画を始めてから、常に細々とした問題が起きる一方、JBAがこういう企画をすることに批判的な意見を持っていた方々もいらっしゃいました。しかし、演奏が終わり、立ち上がって拍手をしている多くの観客を見た時に、この企画をやって良かったと感じました。

今回のコンサートの成功は、JBAの会員の皆さんからの絶大なご寄付とご支援、南加日系合唱連盟の皆さんの熱意とご協力があったからこそだと思います。心から御礼申し上げます。

このイベントに関わった皆さんの絆がさらに広がり、日系人と日本人の橋が強固になり、良好な日米関係が継続し、日系企業の皆さんが安心して働ける南カリフォルニアが継続することを心から願っております。

合唱にも参加した伊原総領事の談話



1年前に鈴木さんがベートーベンの第9をシンフォニーで歌うと言った時、最初は冗談かと思いました。私自身、歌は好きなので、軽い気持ちで参加すると言いました。

ですが、ダウンタウンのリハーサルに行くと、すぐに数々の壁にぶち当たりました。まず、歌詞がドイツ語です。そして、かなり高い音で歌わなければなりません。他のみんなも苦労しているようでした。初めて通して歌った時は、ベートーベンに申し訳ないくらいの出来でした。しかし、練習の度に上達していることに気がきました。コンサート当日は、家族だけでなく、大勢の方に聴きにきていただき感謝しています。

指揮を執ったデビッド・ベノワ氏の談話



鈴木さんがこの話を持ち出した時、400人のコーラスが第9をディズニーホールで歌うとは、なんてワイルドなアイデアだと思いました。鈴木さんは、それを実現させました。このプロジェクトに参加できて光栄です。私はアジア人ではないし、クラシック音楽よりもジャズの世界で生きてきました。それでもこの舞台に立てて本当に幸せです。

コンサートの前半は、私の好きなようにしていいと言われたので、バラエティーに富んだ音楽を自分なりに披露できました。後半は、観客の方にも楽しんでいただけるように、軽い感じに仕上げました。コンサートを終えた時の気持ちは、鮮烈過ぎて言葉で表し切れないものがあります。それは、まさに『歓喜の歌』そのものでした。

ご家族の将来的な財産形成のためのお手伝いをします！

知識もあり丁寧で信頼できる担当者が、あなたのライフサイクルに応じたまた、それぞれの必要性にあった商品のご選択をお手伝いします。

もちろん、日本へのご帰国後もお継続いただけます。

お問い合わせは下記の日本語ラインまで、お気軽にご連絡ください。



PACIFIC GUARDIAN LIFE
Pacific Guardian Life Insurance Company, Limited

Orange Office : 333 S. Anita Dr., Suite 900, Orange, CA 92868

Torrance Office : 21605 S. Western Ave., Unit I, Torrance, CA 90501

Burlingame Office : 1350 Old Bayshore Hwy., Suite 660, Burlingame, CA 94010

明治安田生命子会社

<日本語トールフリー>

1-888-616-3780

(→1ページから続く)

商工総務部会 2009年度 サクラメント訪問報告

(報告・町田 修・商工総務副部長)

加州高速鉄道に 新幹線技術をアピール

サクラメント訪問は、カリフォルニア州政府に対して日系企業がさまざまな意見・要望を直接伝える数少ない機会であり、JCCNC（北加日商）と協力して毎年実施しています。

今年度、JBAからは鈴木康義会長（当時）、木畑筆頭副部長（当時）、商工総務部会から横部会長、田崎、町田両部会員の総勢5名が参加しました。JCCNCは、田中正明会頭を筆頭に14名の参加となり、オブザーバーとコーディネーターのスコット・キーン氏を含めて21名の大デレゲーションとなりました。



訪問初日の午後、カレン・ブライス上院議員（写真右手前）と意見交換。委員会開催中であったため、結局ブライス議員との時間が取れなかった。鈴木会長（当時）から、高速鉄道の説明を行った

ました。今年もシュワルツェネッガー加州州知事と懇談する時間を確保できただけでなく、多数の有力州議会議員とも意見交換することができ、有意義な訪問となりました。

初日の6月24日朝、JBA一行はサクラメント・シェラトン・グランドホテルのロビーでJCCNCの一行と合流し、その足でState Capitolへ向かいました。

シュワルツェネッガー加州州知事との面談は午前中に予定されており、懇談の前に現在の政治状況や知事の関心事について雇用経済特別アドバイザーのクレイン氏からブリーフィングを受けました。クレイン氏と意見交換も行いながら待つことしばし、知事との面談が実現しました。

にこやかな笑顔で会議室に現れた知事は、ひとりひとりと握手を交わして、挨拶されました。訪問団からお礼の言葉を述べると共に、カリフォルニア州における日系企業の役割と貢献について知事に説明を行いました。知事からは日系企業の活動に対する感謝の言葉と一層の投資促進に期待する旨の発言があり、意見交換を積極的



下院にて委員会の休憩時間に、ウォーレン・フルタニ議員（写真左から3番目）らと記念撮影（初日午後）。あわせて、下院から訪問団に関する謝辞が議場全体にアナウンスされた

に行いました。

あわせて、現在話題の焦点となっているカリフォルニア州高速鉄道について、日本の新幹線技術のアピールを行いました。新幹線技術が採用されれば、直接のビジネスチャンスが広がるばかりではなく、日本とカリフォルニア州の経済交流がより活発になることが予想されます。このことはカリフォルニア州にとっても非常にメリットが大きいと予想され、知事も興味深く耳を傾けていました。

残念ながら時間の都合で、詳細までは説明することができませんでしたが、在ロサンゼルス日本国総領事館のご厚意により用意した

資料を手渡すことができました。この資料は新幹線に関する情報の説明が詳細に加えてあり、かつフルカラービジュアルで非常にわかりやすい内容でした。短時間での説明を補うには最適な資料であり、資料をご用意いただいた総領事館に、この場を借りて御礼申し上げます。

財政難を背景に高まる 日系企業への期待

昼食は、カリフォルニア州商工会議所の招待によるランチミーティングを行い、カリフォルニア州

BlackBerry®、iPhone™ からプリントできるんです！

- ・プリンタードライバー、追加ソフト不要
- ・簡単操作：プリンターにe-mailを送るだけ
- ・添付ファイルも印刷可：120以上のフォーマットに対応

RICOH™

お問い合わせは、714.375.2301（高橋）まで

© 2009 Ricoh®, the Ricoh logo and the HotSpot Printer logo® are trademarks of Ricoh Company, Ltd. All other trademarks are the property of their respective owners.



Ricoh HotSpot Printer™



カリフォルニア州商工会議所とのランチミーティング（初日）。商工会議所からはカリフォルニア州経済の厳しい状況が説明され、また、州政府の政策批判もあったため、メンバーの食事の手も止まり、真剣にならざるをえなかった

の政治経済の状況について最新の情報を得ると共に意見交換を行いました。ちょうどこの訪問時期がカリフォルニア州の財政問題で大揺れのタイミングであったこともあり、商工会議所のザレンバーク会頭は、真剣、かつ州政府の政策に対して「辛口」でもあり、非常に印象深いミーティングとなりました。



州議事堂前にて記念撮影（初日ランチ後）。皆さんにこやかな笑顔ですが、ちょうど午後一番で気温が1番高い時間。実はちょっと暑さにバテ気味です

した。

午後は、州議会有力議員との会談を実施し、下院は日系議員のメリー・ハヤシ氏、ウォーレン・フルタニ氏ら、上院議員ではカレン・ブライス氏と会うことができました。時間は限られていましたが、面会できなかった議員も招いての夕食会を開催し、多くの議員との交流を深めました。各議員も日系企業の現状について非常に興味を持っており、「継続は力なり」の言葉通り、毎年このような活動を続けていくことの重要性を改めて認識しました。

翌日は、カリフォルニア大学サクラメントセンター（UCSC）において、州購買局（Department of General Service）による「Doing Business with California」セミナーが行われました。これは、スモール



最終日の Wrap-Up ランチ。すべての日程を終了して、全員安堵の表情。JCCNC との非常に良いコミュニケーションの場となりました

ビジネスに対して、カリフォルニア州政府がどのようなサポートを行っているかを説明するもので、非常に興味深い内容でした。シュワルツェネッガー知事もスモールビジネスを非常に重要視しており、その意向もあってセミナーが開催されたようです。JBA としても、今後積極的に情報を入手していく価値があると思われます。

以上が2日間にわたるサクラメント訪問でした。

例年同様、非常に内容の濃い訪問となりました。知事も熱心に色々な話をされ、思った以上に懇談も長くなりました。このような「歓待」を受けた背景には、カリフォルニア州の歳入不足の折、日系企業に対する期待が強まっていることがあるのではないかと思います。

サクラメント訪問は、JCCNC と

の数少ない共催事業の一つであり、今後より連携を深めて会員企業の皆様のお役に立てるよう改善をしていきたいと考えております。

今後のサクラメント訪問に関するご意見、提言等ございましたら、JBA 事務局（☎ 310-515-9522）もしくは、商工総務部会・町田まで



知事面会前に、雇用経済特別アドバイザーのクレイン氏からブリーフィング（初日午前）。知事のトッププレーンだけあって、簡潔要領を得た説明があった。知事との面談をスムーズに行うため、内容を絞り込んだ説明であった

Experience Modern Japan in
An All New Green Environment.

**MIYAKO
HYBRID
HOTEL**
TORRANCE, CALIFORNIA

**OPENING
DECEMBER
2009**

21381 So. Western Avenue
Torrance, California 90501
Phone: (310) 212-5111
Fax: (310) 212-5112
www.miyakohybridhotel.com

企画広報部会

第129回ビジネスセミナー

「LA港の最新事情と物流セキュリティ規制への対応」

去る7月24日、ホリデーイン・トーランスで、第129回ビジネスセミナー「LA港の最新事情と物流セキュリティ規制への対応」が開催された。当日は、ロサンゼルス港湾局の森本政司氏と、ジェットロ・ロサンゼルスセンターの水谷剛氏を招き、日系企業にも影響を及ぼす最新トピックを講演した。

まずは、森本氏が壇上に上がった。

全米最大のLA港
対アジアでは中国が1位

ロサンゼルス港（以下LA港）は世界でも有数の規模で、全米最大のコンテナ取扱量を誇ります。1907年に開港し、現在は7500エーカーの広さで、785万TEU（2008年）のコンテナを扱っています。日本の港と大きく違うのは、「Non-Taxpayer Supported」の港であること。つまり、連邦、州、市から助成金をもらわず、自ら利益を上げて運営しています。

LA港は公共サービスの提供を主な業務としますから、コンテナだけでなく、クルーズ、フィッシング産業、商業リテール、ヨットやボートの係留港としても利用されています。クルーズ船についてちょっと話をしますと、西海岸ではLA港が最大のクルーズセンターで、年間約120万人が乗降しています。クルーズというのは、実は地方経済に大きく貢献します。大型船になりますと船一隻に3000

人以上が乗り込んでいますので、いわば小さな街が大移動しているようなもの。その間に消費する飲食物や燃料をロサンゼルス港で購入するわけですから、1回の寄港で30万ドルほどを消費してくれるのです。

さてLA港の取引先ですが、第1位が中国・香港の1億1520万ドルでダントツ。以下、2位が日本（3920万ドル）、3位が台湾（1460万ドル）、4位が韓国（970万ドル）です。アジアの国別割合をコンテナ数で見ると、何と中国・香港発が71%。日本発は4.2%しかありません。

2012年には
港の排出ガスを80%削減

ディーゼルエンジンを使うことで排出するばい煙が身体に害を与えることはよく知られており、港の活動により大気汚染が発生することも明らかとなりました。

その要因を分析しますと、「船の出入り」「ターミナルでの活動」「コンテナを港から出し入れするためのトラック走行や鉄道」の3

つに大別されます。

そんななか、現在LA港では「Clean Air Action Plan」と銘打ったプロジェクトを推進し、ばい煙の削減を目指しています。

船の出入りに関しては、特定海域を航行する際、減速することを義務付けました。そうすることでエンジンガスを減らすのです。

また、寄港した船に陸から電源を供給することで、停泊時に発電用のエンジンを切るようにしました。同時に、エンジンを切っても発生する煙を、浄化してから排出する計画も進められています。

コンテナを運ぶトラックやそれを積み降ろしする巨大クレーンの動力に関しては、ディーゼル以外の燃料で動くものへの移行を促進しています。例えば、天然ガスやバッテリーを使ったトラックへの移行などです。そして、これらの規制を守れないターミナル会社には、ターミナルのリース契約の延長ができないなどの処置が取られるようにしています。

トラックについて、もう少し詳しく見てみると、目下、12年までに約1万6800台のトラックを新



巨大LA港の過去・現在・将来を語る森本氏

しい環境規制に合ったトラックに交換し、80%の排ガス削減を目指しています。具体的には、12年の1月1日以降は、07年のEPA（連邦環境保護局）基準を満たしたエンジンを搭載したトラック以外は、LA港、およびロングビーチ港への出入りが禁止となります。08年10月には、すでに1989年以前に製造されたトラックの出入りが禁止となっています。また、来年の1月1日以降には、93年以前のトラックの乗り入れが禁止となります。また同日から、94～03年のトラックには、エミッション・コントロールの搭載を義務付けています。

LA港は、船会社やターミナル会社とは直接交渉できますが、トラックはほぼ99%が個人ドライバーであるため、直接交渉が困難で

Think Global, Act Local

ワールドクラスITサービスをグローバルに展開する富士通は
ローカルに密着した製品とソリューションを提案します



Improve Customer's Business

お客様のビジネス展開を富士通の "Field Innovation" が支援

- Business Solution Services
- IT Infrastructure Services
- Platform Products and Software

Strategic Partners



Alliances



FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

(本社)
FUJITSU AMERICA, INC.
1250 E. Arques Ave.
Sunnyvale, CA 94085
Tel. (408) 746-6000

(ロサンゼルス)
FUJITSU AMERICA, INC.
19600 Fairchild Rd., Suite 350
Irvine, CA 92612
Tel. (949) 852-3332

(ニューヨーク)
FUJITSU AMERICA, INC.
733 3rd Ave.
New York, NY 10017
Tel. (212) 850-6600

す。また、新しいトラックの購入をすすめたところで、個人だと資本に限界があり、新しいトラックへの移行は進みません。そこで、20フィートコンテナあたり35ドルを輸出する会社より徴収し、これをファンドとして、ドライバーに新しいトラックの購入資金として割り充てています。また、購入に関して不正がないよう契約や規制を設け、それに同意したドライバーのみに提供しています。

昨年の10月から始まった規制ですが、すでに5800台のトラックが、07年型、あるいは天然ガストラックに移行しました。現在、月に500台くらいのペースで入れ替えが進んでいます。

続いて、水谷氏が壇上に立った。



昨今の米国セキュリティ規制をわかりやすく説明する水谷氏

げています。

3つ目は「リスクベースの検査」です。すべてのコンテナをチェックするのではなく、データから危険性の高いコンテナを特定し、集中的に検査するのです。それでは、規制を細かく見てみましょう。

まずは、「CSI (コンテナ・セキュリティ・イニシアチブ)」。これは、アメリカの税関職員を海外に派遣し、外国港で検査することです。02年3月に開始され、現在58港で実施。日本では、横浜、東京、神戸、名古屋で実施されており、アメリカ向けコンテナの86%をカバーしています。

次に「24時間ルール」です。これは、外国港での船積み24時間前までに、船会社などに積荷目録を提出させることです。その目録を分析し、危険物の有無を把握。CSIと連携し、外国港で検査したり、アメリカへの入港時に徹底検査を行うのです。

次に「C-TPAT」。きちんとしたセキュリティ対策を実行している企業に対して、検査を減らすという優遇措置です。

その次が「10 + 2ルール」です。

これは後で詳しく説明しますが、輸入者に10項目、船会社に2項目の情報の事前提出を義務付けるルールです。罰則なしで今年の1月から開始されていますが、来年の1月26日からは罰則付きで、完全実施の予定です。

そして最後に「100%検査」。これは、外国港において船積みされるすべての米国向け海上コンテナ貨物を検査することです。2012年の実施が予定されていますが、2年ごとの延期が認められており、状況は流動的です。

「10 + 2ルール」の概要と今後の展開

税関国境保護局 (CBP) から「24時間ルール」で申告される積荷目録だけでは不十分と指摘されたのを受け、06年に港湾安全法が成立。危険度の高いコンテナの特定作業の改善に向け、追加的なデータ項目の提出が規定されました。これにより、どんな情報の集積が必要かを業界団体と検討し、作成したのが「10 + 2ルール」です。

「10 + 2ルール」は海上貨物のみが対象で、航空、トラック貨物は含まれません。特に中身が見えない危険なコンテナを対象とし、石油や鉄鉱石などのバルク貨物は適用外です。

さて、提供が求められる10項目の情報は、①売り主、②買い主、③記録上の輸入者番号 (FTZ申請者識別番号)、④荷受人番号、

⑤製造業者 (サプライヤー)、⑥発送先、⑦原産国、⑧商品のHTSUS番号 (6ケタ)、⑨コンテナ詰め込み場所、⑩混載業者です。これらはすべて、輸入者に提出義務があります。代理人委託も可能ですが、最終的には申告責任は輸入者が負うことになります。次の2項目は、①船積み計画書、②コンテナ・ステータスメッセージです。船会社に提出義務があり、これも代理人委託可能です。

申告義務違反、もしくは不履行に対して、今は罰則なしです。しかし今後、違反1件あたり5000ドルの罰金、最悪の場合船積み不許可という処置が取られる恐れがあります。

もう1つ注意すべき点は、CBPがすべての輸入者の10項目の申告状況を記録していることです。今の時期 (試行期間) を含めて記録していますので、現在何もしていないと、完全実施後に厳しい罰則が科されます。また、ルール遵守に向けた努力が貨物検査に影響する可能性もあります。コストもかかるし面倒ではありますが、アメリカに輸入する以上はやっぴかざるを得ないのが現状です。



日系企業にも密接に関係するLA港と物流セキュリティの講演に、会場は満員となった

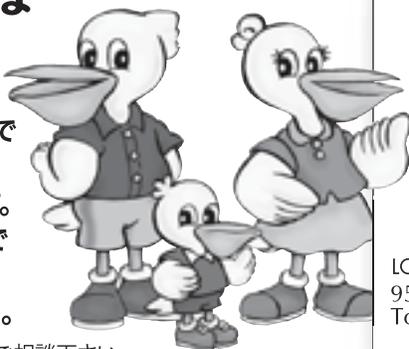
物流の安全強化とそれぞれの規制内容

セキュリティ規制には3つのポイントがあります。1つ目は「多層的な規制の導入」です。検査を強化するだけでなく、C-TPAT、CSI、24時間ルール、10 + 2ルールなど、さまざまな規制を導入し、テロを防ごうという流れです。

2つ目は「アメリカに入る前での危険物阻止」です。これまで税関では、アメリカの港で検査をして危険物の侵入を阻止してきましたが、9・11テロ以降は、輸出国を出る時に危険物を発見するなどして、防衛線を海外の輸出港に広

日通の引越は安心料金!

国内はもちろん
全世界ネットワークで
どの地域へも
確実にお届けします。
一箱から全家財まで
【安心と信用】の
日通にお任せ下さい。



●事務所移転、書庫保管もご相談下さい。



NIPPON EXPRESS USA, INC.

PUC # CAL-T-90010

引越センター

LOS ANGELES HOUSEHOLD GOODS BR.
950 Francisco Street
Torrance, California 90502

Phone: (310) 515-2222
Fax: (310) 538-4018
www.nittsu-pelicanclub.com

Hahn & Bolson LLP

■業務内容

Hahn & Bolson LLPは、大手法律事務所での経験を持つ弁護士により、1997年に設立された。小規模な事務所の利点を活用し、依頼人1人1人のニーズに合った法的サービスを効率的に提供している。

同事務所では、弁護士・スタッフたちのさまざまな経歴



中野さん

を反映して、会社法務、ビジネス法、国際法、不動産、知的財産、雇用法などに加え、ビジネス訴訟、および仲裁などの紛争解決と、多様な分野における知識と経験を備えている。ビジネス訴訟における幅広い経験はもちろん、和解や仲裁による紛争解決も重要視している。

また、日系企業への法的サービスの提供にも力を入れている。パートナーであるハーン弁護士は、日本の大学で数年間講師をした経験があり、日本のビジネス法に関する書籍も著している。この経験から、日本とアメリカのビジネスの違いへの理解が高く、日系企業が米国で成功するためのサポートを行っている。それも手伝い、同事務所は小規模ながら、依頼人として某大手日系製造会社を始め、国内外の企業に法的サービスを提供している。

■JBA入会動機

「日系企業の米国での成功をお手伝いしたいと思い、JBAへ入会させていただきました。JBAのイベントを通して、会員であるさまざまな異業種ビジネスで活躍されている皆様と交流・意見交換し、お互いに刺激を受け合っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします」(Associate Attorneyの中野さん)。

DATA

21250 Hawthorne Blvd. Suite 500
Torrance, CA 90503
☎ 310-792-7406
FAX: 310-792-7407
www.hahnbolsonllp.com
責任者: 中野将大 (Associate Attorney)
従業員: 5名

Koyo Cooling Systems, Inc.

■業務内容

Koyo Cooling Systems, Inc. は、名古屋に本社を置く江洋ラジエーター株式会社の米国法人。自動車用ラジエーターなどの熱交換器の輸入・販売を行っている。2000年の設立当初はトランスに事務所を置いていたが、ビジネスの拡大に伴い、06年にアーバインに移転。同地に自社倉庫を設けた。また、アーバインのほかに、ニュージャージー州にも支店を展開し、同社のインドネシア工場、および中国工場で生産された製品を、両倉庫からカナダ、アメリカ、メキシコ、カリブ諸国などの顧客に出荷・販売している。



細江さん

製造・輸入・販売をすべて自社グループで行うことにこだわる同社は、「品質重視」を最重要モットーとする。日本に比べ、依然として自動車社会であり、自動車の使用年数が長いアメリカでは、経済低迷の状況にも関わらず、市場の需要は非常に高い。同社は修理用、交換用ラジエーターの高需要に応えながら、市場で高く評価される品質維持に努めている。

今後は、創立9年という若さを活かしながら、米国内での支店、倉庫の拡大、さらなる製品の拡販を目指している。

■JBA入会動機

「異国でビジネスを行うにあたり、JBAの存在はとて心強いものです。各種情報交換、セミナー、そして会員企業の皆様との交流など、そのメリットは非常に大きなものがあります。また、一法人として、社会・地域貢献という責務も果たしていきたいと思っています。種々お世話になりますが、どうぞよろしくお願ひいたします」(COOの細江さん)。

DATA

15 Doppler, Irvine, CA 92618
☎ 949-727-7054
FAX: 949-727-3629
www.koyorad.com
責任者: 細江正彦 (COO)
従業員数: 22名 (米国のみ)
他の営業拠点:
ニュージャージー、日本、シンガポール

NAKANO AVIATION, INC.

■業務内容

同社は、名古屋に本社を持つナカノアビエーション(株)のロサンゼルス事務所として、1990年6月に設立された。

分刻みで離陸していく航空機や、宇宙へ打ち上げられるロケットや衛星など、どれも高度なテクノロジーを極めた部品で製作された物で、重力をものともせず飛び立っている。そんな中、同社の顧客は、日本における航空機産業を担っている主要各社だ。

これらに使われている材料、部品、装備品、副資材などを、米国内、特にロサンゼルス近辺の製造者、または代理店から購入し、本社経由で納入する。何事もなく離陸・着陸するためには、1つ1つの部品の品質が重要。このため厳しい品質チェックを行い、多数の米国内製造会社と代理店契約を結ぶと共に、より早く良質で安い新製品・製造者を探し、顧客に提供することに努めている。

現在は業界全体が厳しい状況にあるが、新規民間機の開発や宇宙開発を考えると、今後さらに伸びる見通しが大いにある。将来も見据え、品質、コスト、納期共に、顧客のニーズに常に応えることで、顧客満足とそれを達成するための従業員満足を目指している。

■JBA入会動機

「我々の取引先は、ロサンゼルスにある製造業者、代理店であり、彼らの情報をいかに早く正確に入手するかが重要な課題です。この地区で活躍されているJBA企業の方々と交流する中で、活路を拓いていきたいとの期待を持ち、今回JBAに入会させていただきました」(LA支店長の里さん)。



里さん

DATA

22301 S. Western Ave. #106
Torrance, CA 90501
☎ 310-212-1480
FAX: 310-782-1230
http://nac.nacavi.co.jp
責任者: 里 菊蔵 (LA支店長)
従業員数: 11名
他の営業拠点: 名古屋(本社)



英検 2級から米国大学(院)へ正規入学できます!

詳細: <http://www.eiken.or.jp/ryugaku>

英検のメリット

- ①全米300校以上の認定大学・大学院への正規入学が可能!
- ②日本で編入学・入試・就職に有利!
- ③日本の通訳ガイド試験1級の英語試験免除!
- ④日本の高校・短大・大学で英語科目の単位認定有!
- ⑤日本の教員採用試験に有利!



財団法人 日本英語検定協会 英検LA事務局
21250 Hawthorne Blvd Suite 500 Torrance, CA 90503

Tel: (310) 944-3840 (10:00-18:00), (310) 972-1444 (緊急用)
E-mail: info@stepeiken.org

STEP EIKEN

■業務内容

日本人の3人に1人は受験したことがあるという、日本人が非常に慣れ親しんでいる同協会の「英検」は、英語力判定試験として創立から45年間、これまで主に日本で活動してきた。同協会は、世界にも通用する英語力の証明として利用されることを願い、5



ファウツさん

年前にトーランスにオフィスを構えた。米国在住の日本人への試験実施だけでなく、日本人が英検を使って米国の大学に入学できるようにするという「認定活動」も同時に開始した。

ロサンゼルス会場で全グレードの受験を実施。合格者は日本での編入学・就職時の優遇、英語単位の免除など、さまざまな特典が受けられる。また、カリフォルニア州のほとんどのコミュニティーカレッジでは、英検2級から入学できるようになっている。さらに近年では、自分の英語力を確認する目安にしたり、帰国後の英語力の証明に役立てたりと、需要が増えている。600人近い受験生の中には、全米のほか、カナダやメキシコから来る受験者もいる。

現在、英検を使って入学できる大学は332校。同協会は、今後さらにレベルの高い認定大学、大学院を揃え、世界で活躍できる日本人を育成する橋渡し役になることを目指している。

■JBA入会動機

「認定活動と試験実施という2本の柱を業務とする英検LA事務局では、皆様とのつながりを密にし、できれば大学教授や大学機関の方などをご紹介いただくなど、認定活動につながるネットワークを築きながら、相互協力関係を作っていきたいと思っています」(国際課課長のファウツさん)。

21250 Hawthorne Blvd, Suite 500
Torrance, CA 90503
☎ 310-944-3840
FAX: 310-944-3839
www.eiken.or.jp
責任者: マイケル・ファウツ (国際課課長)
職員数: 3名 (LA事務局の常勤者)
他の営業拠点: 協会本部 (東京)

DATA

ダウンタウン地域部会

二世ウィークで JBAからの寄付金を贈呈

文・CHARTIS 橋本武士さん

これなしでは、ロサンゼルスは語れません!

毎年盛大に開催されるロサンゼルス夏の風物詩、今年で69回目となる二世ウィークのオープニングセレモニーが、7月19日午後1時より、多くの関係者やスポンサー、ボランティアの方々が集い、全米日系人博物館で盛大に開催されました。

セレモニーは、素晴らしい琴とフルートのコラボ演奏に始まり、メインイベントの二世クイーン紹介、新旧クイーンの交代式等が行われ、文化の薫り高さ、華やかな雰囲気の中で式は進行。その席上、JBAからの寄付金贈呈式が行われました。

二世ウィークへの祝辞と共に、JBAを代表してダウンタウン地域部会の橋本から5000ドルの小切手を、二世ウィークファンデーション・プレジデント、テリー・ハラ氏に手渡しました。



ダウンタウン地域部会の橋本さん (左) とハラ氏

あさひ学園

バザーと蚤の市

あさひ学園事務局

あさひ学園は2学期になると、いろいろな行事が目白押しである。運動会や弁論大会、年末には餅つき大会。そして、楽しみの一つとされている「バザーと蚤の市」も、各校で11月に行われる。

この催し物は、父母の会が主催するもので、いろいろな商品を破格の値段で販売し、その収益金を父母の会の活動に充てるというものである。そこで、あさひ学園の母体であるJBA加盟社に協力を仰ぎたく、各社で取り扱っている商品、あるいは不必要となった物などの寄付をお願いしている。何卒、宜しくご協力の程をお願い致します。

バザー・蚤の市の日程は、オレンジ校(11月7日)、トーランス校(11月14日)、サンタモニカ校(11月21日)、サンゲール校(11月21日)となっている。

あさひ学園教員募集

募集対象: 幼稚部・小学部・中部部・高等部のいずれかの教員

応募資格: 米国内における正規の労働許可所有者
日本の教員免許所持者

または、日本の4年制大学卒業(小・中・高等部)、短大卒業(幼稚部)

*数学・理科の教員については、関連教科を専攻した米国の4年制大学卒可。ただし、日本の高等学校までの教育を受けていること。

勤務日: 毎週土曜日・午前8時30分~午後4時30分

勤務地: サンタモニカ校・サンゲール校・トーランス校・オレンジ校

募集期間: 随時

選考方法: 書類審査と面接

問い合わせ: あさひ学園事務局 (担当: 福田)

☎ 213-613-1325

E-mail: info@asahigakuen.com

北米で多くの日系企業のITをサポートして23年 情報システムの専門家がJAL Groupならではのサービスをご提供します

この度、弊社ではVMware社による仮想化技術を利用したVirtual Dedicated Server (VDS) ホスティングサービスを開始しました。自社でサーバーを管理・運営するのが心配或いは面倒だと思われる企業には便利で信頼のできるサービスです。

ディザスターリカバリー(バックアップ)の体制も万全に整っておりますので、ご安心してご利用いただけます。また、自社内に数多くあるサーバーを統合したいという企業には、弊社のプロフェッショナルがオンサイトで仮想化環境の構築を御手伝いいたします。

JAL Avionet USAでは御支払いに便利な各種リースも取り揃えております。

企業情報システムのことなら、是非、弊社セールスマンまでお問合せ下さい。



All trademarks or registered trademarks and logos are the property of their respective holders. © 2009 JAL Avionet USA

JAL JAL AVIONET USA
www.jalavionet.com

LOS ANGELES OFFICE
TEL: 310-606-1000 FAX: 310-606-1090
300 N. Continental Blvd., Suite 190 El Segundo, CA 90245

お問合せは営業部代表
310-606-1060 または
sales@jalavionet.com まで

企画広報部会

JBAウェブサイト リニューアル



JBAのウェブサイト (www.jba.org) を、もっと活用いただけるよう、システムデザインをリニューアルいたしました。

トップページを「イベント」「セミナー」「JBAからのお知らせ」「環境への取り組み」の4つのカテゴリーに分け、最新の情報がトップページですぐに見られるようになりました。また、イベントの写真も今後随時アップしていきます。参加されたイベントの写真も、JBAのウェブサイトにて見つけることができます。

JBAの最新情報は、ぜひウェブサイトをご覧ください。

第130回ビジネスセミナー 開催のお知らせ

来たる9月11日(金)、午前9時30分から正午まで、ホリデーイン・トーランス (19800 Vermont Ave.) にて、第130回ビジネスセミナー「不況期における経営リーダー

シップとは」を開催します。講師には、ビジネスコンサルタント社の金日基氏をお迎えし、海外日系企業での10年以上のコンサルティングサービスの経験から得た理論を基に、グローバルに活動するビジネスパーソンに求められる能力、成功するグローバルマネジメントの考え方、異文化統合までのステップなどについてお話いただきます。

会費はJBA会員は無料、非会員企業の方は20ドル。申し込みはEメールにて、JBA事務局の森(mori@jba.org)まで。

教育部会

教育フェア2009 in ロサンゼルスを開催

9月27日(日)、午前9時15分から午後4時まで(個別相談を含む)、教育フェア2009 in ロサンゼルス「渡米から帰国後までの生活適応と学力伸長」を開催します。会場は、ホリデーイン・トーランス (19800 S. Vermont Ave.)。

当日は、現地適応から帰国後の学力適応や伸長について、帰国受入校の先生方をまじえて考えます。INFOEの松本先生の教育講演会、パネル・ディスカッション、個別相談(予約制)を予定しています。

参加費は無料(JBA非会員は20ドル/家族)。申し込みは、9月18日(金)までに、JBA事務局のアサコ(E-mail: asako@jba.org・FAX: 310-515-9722)まで。

サウスベイ地域部会

「サウスベイ部会懇親会」 9月16日に開催

サウスベイ地域部会では、来たる9月16日(水)午後6時30分から、「サウスベイ部会懇親会」を開催します。会場は、居酒屋割烹 磯源 (2212 W. Artesia Blvd., Torrance)。今回は趣向を変え、リラックスした雰囲気居酒屋系懇親会です。会員相互の懇親の場として、また情報交換の場としてぜひご活用いただければと思います。ぜひ気軽にご参加ください。

参加費は20ドルで、会員の方のみ(1社2名まで)の参加とさせていただきます。参加希望者は、JBA事務局の森まで参加人数、氏名をメール(mori@jba.org)してください。

新入会員

Studio Zing, Inc.
12732 Maxella Ave.
Los Angeles, CA 90066
☎ 310-915-5706

会社名

AIU Holdings, Inc. ⇒ CHARTIS
Logical eXtensionS, Inc. ⇒
Hampstead USA, Inc.

主管者変更

KBK Inc.
Yoshinori Sato ⇒ Koji Aoki

Shizuoka Bank Ltd., L.A. Branch, The
Masahiko Nagakura ⇒
Fuminori Matsushita

JAPAN AIRLINES
Yasuyoshi Suzuki ⇒ Toshiki Oka
Sanko Electronics America, Inc.
Toshiaki Yamashita ⇒
Masaki Saigusa

Manufacturers Bank
Yoshinori Tsutsumi ⇒
Mitsugu Serizawa

住所変更および連絡先変更

KBK Inc.
新住所) P.O. Box 10580
Glendale, CA 91209
☎ 213-268-1064

Venture Link International, Inc.
新住所)
11150 W. Olympic Blvd. Suite 970
Los Angeles, CA 90064

Nissay Dowa General Insurance
Co., Ltd.
新住所)
Suite 2305 (スイート変更のみ)

Dream Dining California LLC
新住所)
19600 Fairchild Rd. Suite 220
Irvine, CA 92612
☎ 949-863-9035
Fax: 949-863-3092

ザ・パシフィック・ブリッジ・カンパニーズ
あなたとあなたの未来を繋ぐ架け橋

国境を越え、世代を超えたファイナンシャル・プランニング。
 LOS ANGELES - HONOLULU - TOKYO - HONG KONG

弊社はあなたのファイナンシャル・アドバイザーと協力し、あなたの資産蓄積・保全・譲渡の目的に合うよう、
 税務を考慮した保険・投資を有効活用する包括的なファイナンシャル・プランの開発および実践に努めます。



THE PACIFIC BRIDGE COMPANIES
 825 S. Primrose Ave., Suite C, Monrovia, CA 91016
 Toll-Free: 1-877-205-2555 Japanese Language Assistance: 1-626-303-5812
 www.thepacificbridgecompanies.com

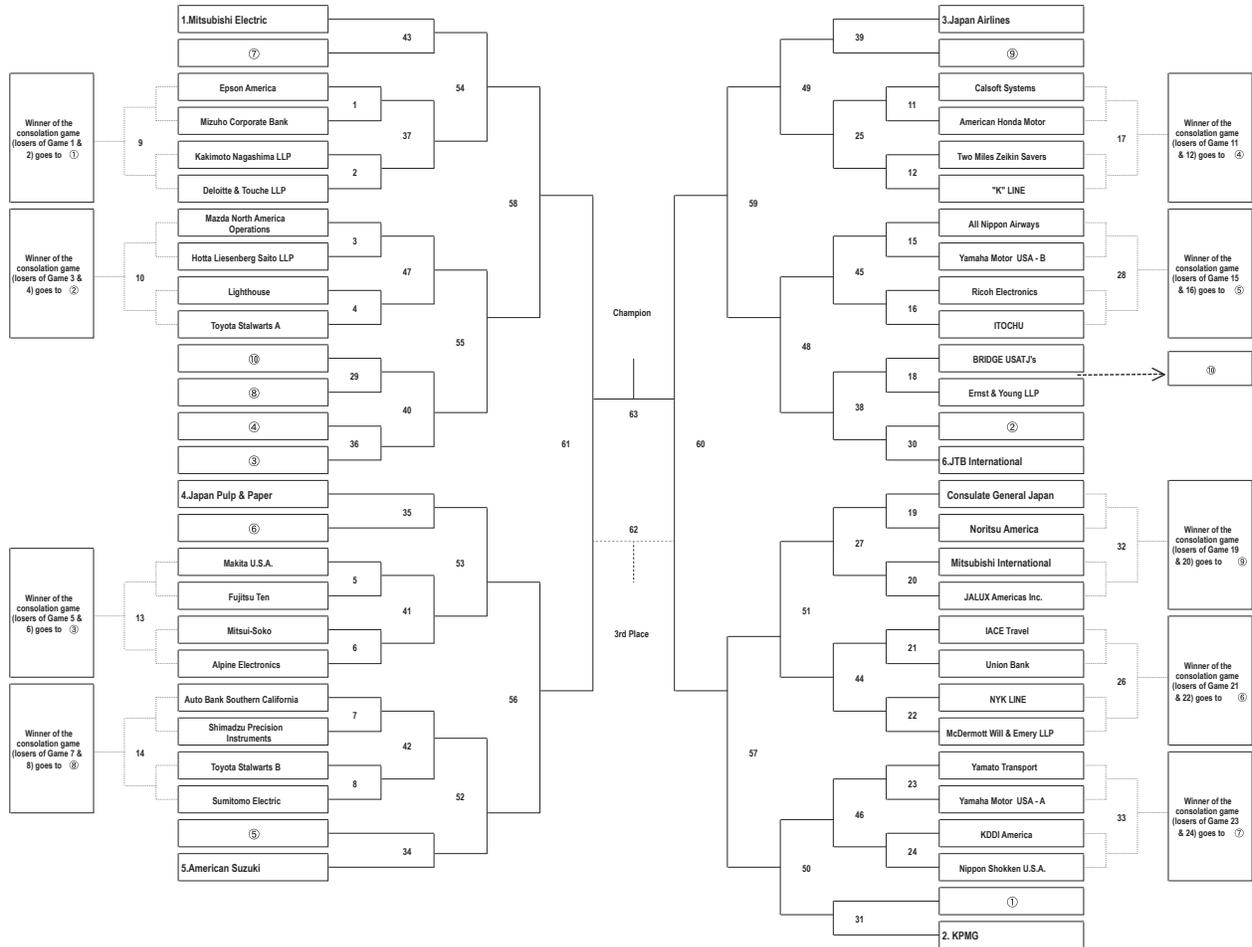
Securities and investment advice offered through Transamerica Financial Advisors, Inc., a registered broker/dealer and investment advisor. Member FINRA/SIPC. Neither Transamerica Financial Advisors, Inc. (TFA) nor its representatives provide legal, tax nor accounting advice. Persons who provide such advice do so in a capacity other than as a registered representative of TFA.

第46回ソフトボール大会 対戦組み合わせ決定

9月12日、13日、19日、20日の2週にわたる週末に開催するJBAソフトボール大会。チーム代表者による抽選の結果、参加44チームの対戦組み合わせが下記の通り決定しました。

今回は、ハンティントンビーチのCentral Park Sports Complex (18100 Golden West St.)に会場が移りました。皆さまの応援、お待ちしております。

2009 JBA SOFTBALL TOURNAMENT Brackets 44 Teams



自動車リースは
アメリカでクレジットが無いと
出来ないと思いませんか???

- ソーシャル・セキュリティ番号がなくても、または申請中でもOK!
- 全米どこでもOK! どんな田舎でも、都会でもOK!
- どんな車種でもOK! シビック、カローラ、カムリ、アコード、などの日本車、アメリカ車、ヨーロッパ車、何でもOK!
- リース期間は1年からOK!
- 15ヶ月とかの変則月数でもリース可能です。
- リース料は契約期間が長くなるほど安くなります。
- リース終了後は月極めて延長も可能です。
- 金利は5.45%と格安です。(2005年9月現在)
- 納車は注文からわずか一週間ほどで可能です!
- 自動車保険の手配もお任せ下さい。



* 現在このリースプログラムを三菱電機社、NEC社、PANASONIC社など各企業の皆様にも全米でご利用いただいております。

いえ、**出来るんです**
どなたでも、全米どこの町でもOK!

お気軽に電話または
e-mailでお問い合わせください。

電話 : **213-621-7775**
担当は 大橋: ohashi3@pacbell.net
又はゆきまさ: yukimasa@pacbell.net

特報 カリフォルニア州の皆さんには、格安中古車リースもありますので、在庫車種をお問い合わせください。

*各種情報はウェブサイトでもご覧になれます。
www.LaJapaneseAuto.net

親切で安心して任せられる25年の実績と信頼 1980年創業
LOS ANGELES JAPANESE AUTO
810 E.1st St., Los Angeles, CA 90012 • Tel: (213) 621-7775 • Fax: (213) 687-0909

発行 : 南カリフォルニア日系企業協会 (JBA)
 編集 : JBA 企画広報部
 企画広報部長 : 佐野 学 (ANA Sales Americas)
 副部長 : 浜野好春 (KPMG LLP)
 副部長 : 西森克矢 (KDDI America, Inc.)
 部会員 : 安永正法 (Calbee America Inc.)
 皮籠石 直征 (Consulate General of Japan)
 田中 創 (Consulate General of Japan)
 井筒謙一 (DCM Creations, Inc.)
 西川周作 (Deloitte Touche Tohmatsu)
 伊藤三郎 (Ernst & Young LLP)
 木村拓也 (Hampstead USA, Inc.)
 菊池正博 (interesse international inc.)
 松山真一 (JALUX America Inc.)
 青島美奈子 (Japan National Tourism Organization)
 舟木 健太郎 (JETRO, Los Angeles)

部会員 : 小泉 稔 (JTB International, Inc.)
 川嶋達也 (Lighthouse)
 森口達也 (Open Systems Production 2, Inc.)
 江口邦宏 (OYO Corporation U.S.A.)
 中原 徹 (Pillsbury Winthrop Shaw Pittman LLP)
 大前洋一 (The Revere Group)
 森原 潔 (Saeshe Advertising)
 須藤 潤 (S-CUBED LLC)
 熊崎 猛 (Sumitomo Electric)
 鶴浦 真紗子 (Ted Tokio Tanaka Architects)
 千々和 宗一 (Total Computing Solutions of America, Inc.)
 淵上郁弥 (United Television Broadcasting Systems, Inc.)
 水野真琴 (Yamato Transport U.S.A., Inc.)
 (社名アルファベット順)

制作協力 : Lighthouse

子女教育情報誌 好評発売中!

「ロサンゼルス転勤で 子女教育に困らないための本」

幼稚園から高校まで、この1冊で南カリフォルニア教育事情のすべてがわかるマニュアル本。教育部会が現地校通学子女を持つ父親、母親の立場で製作しました。自信を持っておすすめする必携の1冊です。



購入に関するお問い合わせは、事務局まで
 ☎ 310-515-9522 E-mail: jba@jba.org

JBA 会員価格 25 ドル
 (TAX 込み・送料別 定価 35 ドル)

JBA ニュースに 広告を出しませんか?

在外邦人ビジネス団体としては最大規模の JBA では、毎月会報誌の「JBA ニュース」を発行しています。現在、毎月約 4000 部を JBA 全会員および、あさひ学園のご家庭に配布しています。

この JBA ニュースの広告スペースは会員と会員以外の企業にもご利用いただいています。

詳細お問い合わせ、お申し込みは JBA 事務局まで
 TEL: 310-515-9522

日本を代表する銀行グループの一員として、国際取引と資産運用の豊富な知識と経験をもったスタッフが、あなたの将来を計画するお手伝いをいたします。お気軽に、日本語フリーダイヤルまたは日本語スタッフ常駐支店まで。
 電話番号: 1-800-532-7976 受付時間: 月~金 午前 8 時~午後 5 時 (太平洋標準時)

Gardena (310) 354-4705	Irvine (949) 250-0877	L.A. Main (213) 236-7705
Little Tokyo (213) 972-5511	Montebello (323) 726-0084	S. Gardena (310) 532-5524
Torrance (310) 373-8192	West L.A. (310) 915-7112	Wealth Management (213) 236-7012

 **UnionBank**SM
 Invest in youSM

Visit us at unionbank.com/japanese ©2009 Union Bank, N.A. 

 三菱東京UFJ銀行

<http://www.knllp.com>

21241 S. Western Ave., Suite 200
 Torrance, CA 90501
 Tel: (310) 320-2700 Fax: (310) 320-4630
 ☎ sboffice@knllp.com

**Kakimoto
Nagashima**
 L L P
 Certified Public Accountants
 Consultants

会計監査・会計全般
 税務全般(企業、個人)
 会計アウトソーシング
 コンピューターコンサルティンク
 経営コンサルティンク

日本人スタッフによる信頼できるサービス